

環境白書の刊行に当たって

本県は、緑豊かな山野、大地を潤す清らかな河川、変化に富んだ海岸線、そして湧出量・源泉数ともに日本一の温泉など、全国に誇れる豊かな自然環境に恵まれています。これらの県民共有の財産であり、かけがえのないふるさとの環境を将来の世代へと確実に継承していく必要があります。

しかしながら今日においても、日常生活や事業活動に密接に関わり、人類の生存基盤を脅かす地球温暖化問題や、大分県のすばらしい自然を支える生物多様性の保全など、引き続き取り組むべき多くの課題があります。また、東日本大震災に伴う福島第一原発の事故により、節電や省エネルギーなどへの取組が一層求められるようになりました。併せて、環境放射能の監視体制の強化も必要となりました。

こうした環境を取り巻く状況の変化を踏まえ、「ごみゼロおおいた作戦県民会議」や県民の皆様から意見をいただき、昨年3月に大分県新環境基本計画の見直しを行ったところです。

見直しにあたっては、環境負荷低減と産業振興の両立を図るため、新エネルギー産業の育成を新たに盛り込むとともに、生物多様性保全の推進や温室効果ガス排出量削減に向けた取組などを拡充しました。

この改訂計画に基づいて、本県の地質遺産の特長を活かしたジオパーク構想の推進、大気汚染物質PM2.5の監視体制の強化、家庭や事業所向けの省エネ診断の実施による省エネ機器の導入促進、「湯けむり発電」など新エネルギーの事業化の支援、子どもを対象にした体験型森林環境学習などに取り組んでいます。また、本県の環境保全の基盤的施策である環境影響評価について、より適切な環境保全措置が選択できるよう条例の改正を行うこととしています。

本年は、身の回りのごみ問題から地域の環境保全、さらには地球温暖化問題までを考え、行動する県民運動「ごみゼロおおいた作戦」の10周年の節目となります。そこで、従来からの取組に加え、ごみゼロキャラバンなどを行う記念行事の実施やこれからの地域の環境保全活動を担う新たなリーダーを養成する「ごみゼロエコール」の開講などにより、県内各地域で多様な年齢層を巻き込み、県民運動の輪をさらに広げてまいりたいと考えています。

この白書は、平成23年度における本県の環境の現状と環境保全のために実施している施策をとりまとめたものです。県民の皆様には、本書を通して環境問題への関心と理解をより一層深めていただくとともに、環境保全活動に取り組む際の参考としていただければ幸いです。

平成25年3月

大分県知事

広瀬 勝貞



大分県環境白書 目次

第1部 県民中心の施策展開	5
第1章 環境保全に関する施策の推進	5
第1節 環境行政の動向	5
第1項 国における環境行政の動向	5
第2項 大分県における環境行政の動向	6
第2節 ごみゼロおおいた作戦の展開	7
第1項 ごみゼロおおいた作戦の推進状況	7
第2項 今後の施策の方向性	9
第3項 主要な施策	9
第2章 環境行政の推進体制	11
第1節 大分県環境基本条例	11
第2節 大分県新環境基本計画～ごみゼロおおいた推進基本プラン～	11
第3節 大分県環境影響評価条例	14
第4節 大分県生活環境の保全等に関する条例	14
第5節 美しく快適な大分県づくり条例	15
第6節 大分県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	18
第7節 大分県土砂等のたい積行為の規制に関する条例	19
第8節 大分県希少野生動植物の保護に関する条例	19
第9節 県における環境行政の推進体制	20
第1項 行政組織	20
第2項 附属機関	22
第2部 環境の状況と環境の保全に関して講じた施策	23
第1章 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	23
第1節 豊かな自然や生物多様性の保全	23
第1項 自然公園等の保護・保全	24
第2項 自然景観の保全と活用	29
第3項 多様な生態系の保全	31
第4項 森林の保全	34
第5項 水辺の保全	35
第6項 自然とふれあいの推進と適正な利用	35
第2節 快適な地域環境の保全と創造	36
第1項 ゆとりある生活空間の保全と創造	36

第2項 美しい景観の形成	40
第3項 身近な緑の保全と創造	40
第4項 身近な水辺の創造	42
第5項 農山漁村の持つ多面的な機能の維持・再生	43
第6項 歴史的・文化的遺産の保全と活用	43
第3節 温泉の保護と利用	45
第1項 温泉の資源保護	45
第2項 多目的利用と温泉地づくり	46
第2章 循環を基調とする地域社会の構築	49
第1節 大気環境の保全	49
第1項 大気環境保全対策の推進	49
第2項 地域の生活環境保全対策の推進	57
第2節 水・土壌・地盤環境の保全	60
第1項 水環境保全対策の推進	60
第2項 土壌環境保全対策等の推進	86
第3節 化学物質等への環境保全対策	88
第1項 環境リスクへの低減及びリスクコミュニケーションの推進	88
第2項 放射線の監視体制の充実	92
第4節 廃棄物・リサイクル対策	94
第1項 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	94
第2項 廃棄物の発生抑制と適正処理	95
第3項 大分県バイオマス総合活用マスタープラン	101
第3章 地球環境問題への取組の推進	103
第1節 温室効果ガスの排出源対策の推進	103
第1項 地球温暖化の概要	103
第2項 本県の削減目標と県内の排出状況	104
第3項 本県の削減目標に向けた取組	106
第4項 低炭素・グリーン会社を旨としたまちづくりの推進	106
第5項 エネルギー利用の効率化とその他の取組	108
第2節 エコエネルギーの導入推進	109
第1項 エコエネルギー導入の推進	109
第2項 エコエネルギーの普及啓発	110
第3節 二酸化炭素の吸収源対策の推進	110

第1項	森林の適正な管理・保全	110
第2項	県民総参加の森林づくりの 推進	110
第3項	県産材の利用拡大	110
第4節	その他地球規模の環境問題への 対策	112
第1項	フロン等オゾン層破壊物質の 回収対策	112
第2項	酸性雨対策	112
第4章	環境・エネルギー産業の育成	114
第1節	環境・エネルギー技術への 挑戦	114
第1項	新エネルギーの技術・製品 開発の支援	114
第2節	環境・エネルギービジネスの 拡大	116
第1項	新エネルギーの事業化の 支援	116
第2項	循環型環境産業の育成	116
第3節	企業の環境活動の促進	117
第1項	省エネルギー・低炭素化機器の 導入促進	117
第2項	企業の環境対策への取組の 支援	118
第5章	すべての主体が参加する 美しく快適な県づくり	120
第1節	自発的な環境保全活動の促進	120
第1項	自発的な活動の支援	120
第2項	地域が連携した活動の 推進	124
第3項	市町村の率先行動の 推進	128
第2節	豊かな環境づくりを守り育てる 人づくり	128
第1項	推進基盤の整備	128
第2項	多様な場における環境教育・ 学習の推進	129
第3項	環境人材の育成と活用の 促進	130
第6章	基盤的施策の推進	131
第1節	環境影響評価の推進	131
第2節	環境に配慮した取組の推進	133
第1項	大分県環境マネジメント システムの構築	133
第2項	グリーン購入の促進	134
第3節	環境情報の整備と提供	135
第4節	調査研究、監視・観測等の 推進	136
第1項	衛生環境研究センターの概要	136

第2項	環境保全に関する試験検査の 実施状況	137
第5節	規制法的手法の活用	137
第1項	大分県生活環境の保全等に 関する条例の施行状況	137
第2項	公害防止協定締結の現況	138
第3項	土地利用対策	138
第4項	工場立地対策	139
第5項	環境犯罪の取締り	139
第6節	公害防止計画の推進	140
第1項	計画の策定状況	140
第7節	公害紛争等の適正処理	141
第1項	公害苦情及び紛争の処理	141
第8節	地域環境保全基金	142
第9節	地域グリーンニューディール 基金	142
第3部	ごみゼロおおいた作戦環境 関連事業の取組状況	143
第1章	平成23年度実施事業の 取組結果	143
第2章	平成24年度実施事業の 取組状況	151
大分県地球温暖化防止活動推進センター 年次報告		159
資料編		163